

要 望 活 動 報 告 書

実 施 日	平成25年7月18日（木）
要 望 者	会津総合開発協議会（敬称略） 会 長 会津若松市長 室井 照平 副会長 喜多方市長（代理）副市長 阿部 敏明 副会長 只見町長 目黒 吉久 副会長 磐梯町長 五十嵐 源市 副会長 湯川村長（代理）副村長 栗城 健一 理 事 只見町議会議長 齋藤 邦夫 理 事 金山町長 長谷川律夫 理 事 柳津町議会議長 田崎 為浩
要 望 先	◇国土交通省 鉄道局 局長 瀧口 敬二 様 ◇自由民主党本部 ◇東日本旅客鉄道株式会社 取締役 経営企画部長 高橋 眞 様 （順不同） ※顧問国会議員 衆議院議員 菅家一郎議員にご案内いただきました。 ※顧問国会議員の皆様へは要望書を提出させていただきました。 ※自由民主党本部 石破茂幹事長様に本部事務方を通し、要望書を提出させていただきました。
要 望 事 項	「ＪＲ只見線の早期全線復旧について」緊急要望活動を実施いたしました。 ※詳細につきましては、下記をご参照ください。

要望の様子



国土交通省 瀧口敬二鉄道局長へ要望書を提出。



国土交通省鉄道局長室 役員より要望内容を説明。

自由民主党

幹事長 石 破 茂 様

会 津 総 合 開 発 協 議 会

緊 急 要 望 書



平成 2 5 年 7 月 1 8 日

会 津 総 合 開 発 協 議 会

会 長 会 津 若 松 市 長 室 井 照 平

会津若松市長	室井照平	会津若松市議会議長	目黒章三郎
喜多方市長	山口信也	喜多方市議会議長	齋藤仁一
下郷町長	湯田雄二	下郷町議会議長	佐藤孔一
檜枝岐村長	星光祥	檜枝岐村議会議長	星哲二
只見町長	目黒吉久	只見町議会議長	齋藤邦夫
磐梯町長	五十嵐源市	磐梯町議会議長	穴澤保
猪苗代町長	前後公	猪苗代町議会議長	鈴木武喜
北塩原村長	小椋敏一	北塩原村議会議長	小椋眞
西会津町長	伊藤勝	西会津町議会議長	武藤道廣
会津坂下町長	齋藤文英	会津坂下町議会議長	齋藤善平
湯川村長	大塚節雄	湯川村議会議長	小林孝一
柳津町長	井関庄一	柳津町議会議長	田崎為浩
三島町長	二瓶隆司	三島町議会議長	小柴修一
金山町長	長谷川律夫	金山町議会議長	長谷川盛雄
昭和村長	馬場孝允	昭和村議会議長	渡部長治
会津美里町長	渡部英敏	会津美里町議会議長	鈴木巖
南会津町長	大宅宗吉	南会津町議会議長	芳賀沼順一

J R 只見線の早期全線復旧について

会津地方は、平成 23 年 7 月 27 日から 30 日にかけて記録的な集中豪雨に見舞われ、河川の氾濫や土砂災害により、多くの住宅、農地、道路等が損壊し、J R 只見線においては 3 つの橋りょうが流失するなど、まさに未曾有の大災害となり、住民生活に大きな影響を及ぼした。

国においては、当該災害を激甚災害に指定し、道路の復旧は進んでいるものの、奥会津地域に不可欠な交通手段、観光資源であることはもとより、広域的な観光・交流ネットワークを形成するうえで重要な基盤である J R 只見線は全線復旧に至っていない。

また、沿線地域は、電力供給地として電力の安定供給に大きく寄与し、戦後の復興と高度経済成長を支えてきた重要な地域でもあり、J R 只見線の全線復旧は震災からの復興には必要不可欠である。

については、被災地において、日常生活が一日でも早く取り戻せるよう、下記のとおり強く要望する。

記

J R 只見線の会津川口駅と只見駅間の不通区間早期開通に向け、J R への要請と復旧事業費について国が財政的支援を行うとともに、国、J R 及び地元自治体で連携し、全線再開通に向けた取組みを強化すること。

表紙の「」は昭和47年公募により制定された会津総合開発協議会のシンボルマークです。

東日本旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 富田 哲郎 様

会津総合開発協議会

緊 急 要 望 書



平成25年7月18日

会津総合開発協議会

会長 会津若松市長 室井 照平

会津若松市長	室井照平	会津若松市議会議長	目黒章三郎
喜多方市長	山口信也	喜多方市議会議長	齋藤仁一
下郷町長	湯田雄二	下郷町議会議長	佐藤孔一
檜枝岐村長	星光祥	檜枝岐村議会議長	星哲二
只見町長	目黒吉久	只見町議会議長	齋藤邦夫
磐梯町長	五十嵐源市	磐梯町議会議長	穴澤保
猪苗代町長	前後公	猪苗代町議会議長	鈴木武喜
北塩原村長	小椋敏一	北塩原村議会議長	小椋眞
西会津町長	伊藤勝	西会津町議会議長	武藤道廣
会津坂下町長	齋藤文英	会津坂下町議会議長	齋藤善平
湯川村長	大塚節雄	湯川村議会議長	小林孝一
柳津町長	井関庄一	柳津町議会議長	田崎為浩
三島町長	二瓶隆司	三島町議会議長	小柴修一
金山町長	長谷川律夫	金山町議会議長	長谷川盛雄
昭和村長	馬場孝允	昭和村議会議長	渡部長治
会津美里町長	渡部英敏	会津美里町議会議長	鈴木巖
南会津町長	大宅宗吉	南会津町議会議長	芳賀沼順一

J R 只見線の早期全線復旧について

会津地方は、平成23年7月27日から30日にかけて記録的な集中豪雨に見舞われ、広範囲に渡って甚大なる被害を受けました。

河川の氾濫や土砂災害により、多くの住宅、農地、道路等が損壊し、J R 只見線においては3つの橋りょうが流失するなど、まさに未曾有の大災害となり、今もなお、住民生活に大きな影響を及ぼしております。

国においては、当該災害を激甚災害に指定し、本格的な復旧工事が開始され、道路の復旧は進んでいるものの奥会津地域に不可欠な交通手段、観光資源であることはもとより、広域的な観光・交流ネットワークを形成するうえで重要な基盤であるJ R 只見線の全線復旧をはじめ、課題は多く残されております。

これまでJ R 只見線会津川口駅までの復旧及び只見駅から小出駅間の復旧につきましては、J R 東日本様のご尽力により再開通となり、並びに、不通区間であります川口駅から只見駅間につきましては、代行バス運転により地域の交通確保に努めていただいております。

当地方にとりましてJ R 只見線は、通学・通勤・通院をはじめとして、近隣市町村を結ぶ地域公共交通の要であると同時に、福島県、新潟県、そして首都圏を結ぶ重要な交通手段であります。

また、四季折々の美しさを醸し出す車窓からの風景が、全国的にも人気が高い路線であり、地域住民からの只見線の必要性を訴える声が上がっています。

つきましては、これらの事情に鑑み、奥会津地域交通網の復旧と地域振興のため、一日も早い只見線全線運行再開について、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

表紙の「」は昭和47年公募により制定された会津総合開発協議会のシンボルマークです。